

# ともしえ No. 76

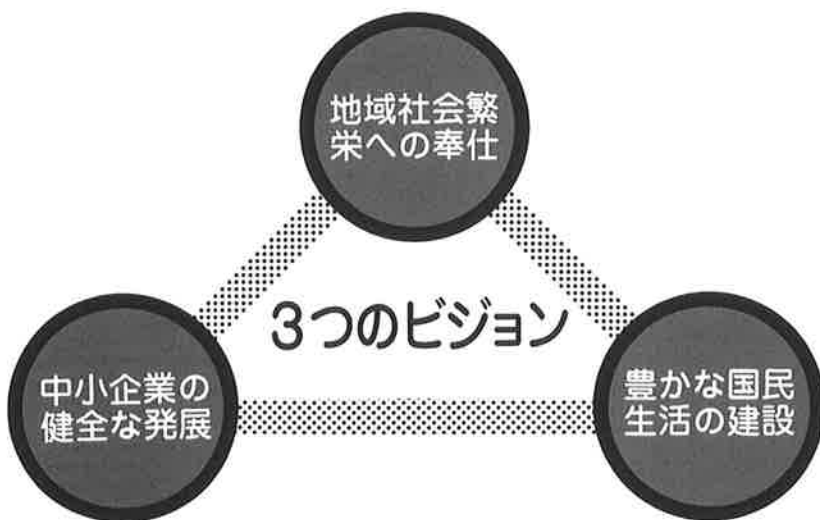


'88 青函博 みんなの力で成功させよう!



■ 函館商工会議所報 ■  
**1987 6月号**

行動する  
はつらつたる  
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521代			

視点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
青函博コナー	16
情報コナー	17
ティータイム	18
ご案内	20



● 視 点

野山もすっかりと緑につつまれ、北海道では最も快適な季節を迎えました。比較的、天候にも恵まれ、観光客の姿も何かしらふえているように見える今日この頃です。

いよいよ青函博迄、あと一年となりました。

三月に設立された「成功させよう青函博の会」も幾度かの会合がもたれ、それぞれの分野での事業実施に向けて準備が進められています。みなみ北海道広域商工振興連絡協議会においても、渡島・松山の商工会・商工会議所が中心となつて、前売入場券を販売することになりました。

所で青函トンネルは、北海道と本州を結ぶ重要な国道と見ることでもでき、経済の面ばかりでなく、文化・生活の面でも重要な役割をもつています。従来四時間で結ばれていた両市が、半分の二時間となることは注目になります。

このトンネル開通によるインパクトをどのように受けとめ、どのように活用して地域の活性化をはかり、発展につなげていくのか、それは両地域の住民の双肩にかかっており、住民自らがこの問題解決に向けて最大限の努力をすることが必要であることは論をまたないところで。

現在、実行委員会事務局では、文字どおりの不眠不休で頑張っており、過労のために体調をくずした方もおられるとのこと。

そこで事務局に対しては、単に意見を申し上げる、注文をつけるというのみではなく、自分達はこういう計画をこういう方法で実行したいかどうか、というような形での支援をぜひお願いしたいと思います。

# 会 議 所 の 動 き



## 北海道新幹線など五項目の早期実現

### 道南商工会議所連絡協に提案

道南商工会議所連絡協議会（浦河、苫小牧、室蘭、登別、伊達、森、函館の各商工会議所）は、全道で有数な温泉街である観光地登別で開催され、地元小川専務理事の外、各商工会議所全員が出席（本所平野専務理事）しました。

この会議は、来る七月二十三日、札幌市に於いて開催される第三十七回全道商工会議所大会に道南地域としての課題に対処し推進するための提案を行なう議題について事前に調整するもので、本所からの提案事項は昨年同様次のとおりになっております。

#### 北海道新幹線の建設促進

青函トンネル工事も二十数年かかりましたが、現在では殆んど完成し、今年の十月頃からは在来線での試運転が開始されますが、一方、整備五新幹線着工凍結の閣議決定が解除され、道新幹線建設も

#### 函館空港の整備促進

第五次空港整備計画（六十五年まで）で函館空港の滑走路延長（三千メートル）が認められましたが、北方圏との経済交流を図り国際化を目指す当地域にとって、国際空港としての施設整備拡充を図ることは緊急のことであり、決定した延長工事が早期着工されるよう要望しています。

#### 国立函館大学の設置について

国立大学の全道的な誘致運動の中で、当地域にとっては高等教育機関の拡充整備は発展のために必要であり、その早期実現を要望しています。

#### 北海道東北開発公庫の機能の拡強化について

北海道は広大な土地をもち、大きな開発可能性が期待できる地域でもあり、さらに民間の活用をはかり、経済の自立化をすすめるために同公庫の機能の一層の拡充強化を要望しています。

近い将来着工の可能性も出てきており、道民生活の向上はもとより、本道の産業経済振興発展のためにも大きな役割を果たすことが予測できる北海道新幹線（青森―札幌）の早期着工を図ること。また、東北新幹線が青森まで延長されたときは函館まで同時乗り入れを図ることを要望しています。

#### 北海道縦貫自動車道の建設促進

地域の発展のためには高速交通体系の確立が、必要とされており、青森市迄完成された本州の東北自動車道と本道を連結するためにも、函館側からの着工が急がれるところであり、函館―長万部間（九〇キロメートル）の整備計画区間への早期組み入れと起点となる函館側から早期着工されるよう要望しています。



## 明年函館で開催決定!

### 全国商工会議所専務・事務局長会議

去る五月十九・二十日の二日間  
にわたり、長崎市に於て全国商工  
会議所専務理事・事務局長会議が  
開催され、全国四百八十六会議所  
のうち、三百九十商工会議所四百  
五十人が参加、本所から平野専務  
理事、中島理事・事務局長が出席  
しました。  
会議一日目は、昨年と同様規模

別商工会議所専務理事懇談会が行  
なわれ、管内人口五万人未満—  
小規模商工会議所グループ、五万  
〜十万人未満—中規模商工会議  
所グループ、十万人以上—大規  
模商工会議所グループ毎に、それ  
ぞれ共通のテーマである「商工会  
議所の事業収入問題」について懇  
談が行なわれました。

## 市・五部長との懇談会開催

本所地域開発委員会（大越勝己  
委員長）・観光サービス部会（西野  
鷹志部会長）・運輸港湾部会（近藤  
敏夫部会長）の正副委員長・部会長  
と函館市の関係五部（企画部・商  
工観光部・都市建設部・土木部・  
港湾部）長との懇談会が五月二十  
五日（月）午前十一時から本所議員室  
において開催されました。  
この懇談会は、函館市が今回ま

二日目には専務理事・事務局長  
会議が開かれ、通産省産業政策局  
総務課長の講演をはじめ前日行な  
われた規模別の懇談会の結果につ  
いて、各座長から報告がなされま  
した。

最後に次期開催地の案内があり、  
開催予定地である当所の平野専務  
理事より歓迎の挨拶とともに、「  
世界一のトンネルと、開通を記念  
して行なわれる博覧会を是非ご覧  
いただきたい」との函館と青函博  
のP・Rがあり、再会を約束して  
閉会しました。

とめた「まちづくり三か年計画」  
を中心に、より良い函館をつくり  
上げるための新たな方向について  
意見を交換するため開催されたも  
ので、今回は第一回目として、次  
のテーマについて市の担当部長か  
らの説明を受けたあと、懇談致し  
ました。

(1) 函館市まちづくり三か年計画に  
ついて …… 斉藤企画部長

(2) (仮称)湯の川マリンパーク計画  
について …… 井上商工観光部長

(3) 駅前地域の整備について  
…… 米田都市建設部長

(4) 緑の島、ウォーターフロント地  
区の整備開発について及び湾岸  
道路の建設について  
…… 品川港湾部長

(5) 函館空港の整備について  
…… 湯浅土木部長

懇談では、「マリンパーク計画」  
については、クアハウス・水族館  
・熱帯植物園との複合施設の中で  
のクアハウスの位置付け。「駅前  
整備」については、駅前再開発の  
早期実施（駅舎問題を含め）や交  
通体系の整備問題。「緑の島・ウ  
ォーターフロントの整備」について  
は、緑の島の有効利用やコンテナ  
ヤード、湾岸道路の早期実現。「  
空港」については、ダブルトラッ  
キング及び大阪便の再開等、積極  
的な意見が出されるなど非常に有  
意義な会合となりました。いずれ  
にしても、函館市のまちづくりに  
ついては官民あげての取り組みが  
必要不可欠ということで意見が一  
致し、今後も懇談会を定期的に継  
続開催していくこととなりました。

# オリジナル包装で個性キラリ!

## ラッピングセミナー開催

包装技術の実践講習会が、去る五月二十六日本所会議室で開催されました。

同じ商品でも、包み方やリボンによってイメージを変え、現代の消費者ニーズへの対応をはかり、個性をキラリと光らせたオリジナル包装で一步先を進み、お店の商品、お店自身のイメージアップを



はかる時代です。そうした意識が反映してか、又明年の青函博覧会の来客へ向けてのサービス向上の一助にしようと考えてか、定員三〇名のところ、大巾に定員を超える申込みがありました。個別指導の要素もあるので、四〇名をもって限定し実施致しました。講師は、ラッピングコーディネ

ーターの平松三恵子先生で、実践講習会とあって、個店の包装方法についての質問が飛びかい、熱気あふれる講習会でした。

中小企業相談所では、小規模事業者のための経営改善普及事業の一貫として、このような講習会、講演会を皆様の要望に合わせ開催し、小規模事業者の参加を広く呼びかけております。

本紙二十頁「ご案内」をご覧のうえ、お申込み下さい。

# 本所とのパイプ役

## 今年度第二回 振興委員連絡会議

わが国経済を支えている企業を事業所数でみると、小規模企業（製造業で常時使用する従業員数二〇人、商業又はサービス業で五人以下の事業所）が約八〇%を占めておりますが、設備・技術の立ち遅れ、家計と営業の未分離等幾多の問題点をかかえています。

そこでこれらの事業に企業

格を持たせるための指導体制の確立を図るべく、昭和三十五年に経営改善普及事業制度が創設され、商工会議所、商工会に指導団体としての役割がゆだねられ、本所でも中小企業相談所に十一名の経営指導員を配置し、小規模事業者の相談指導に当たっております。

しかし、折角の地位向上を図る

種々の施策も小規模企業の方々に利用されなくては意味のあるものとはいえません。

そのため小規模企業の方々の近くでその推進、浸透の役割を受け持っていたく人が必要となり、国では昭和四十七年に小規模企業振興委員制度を発足させました。

本所では現在、各業種団体別に四十名の方々に振興委員をご委嘱しております。

振興委員の皆様には、常時本所と情報交換をしていただくため、過日、今年度第一回（年六回開催予定）振興委員連絡会議を開催し本所の相談指導体制と今年度の事業計画を中心に話し合いを行ない、連携の強化と事業の推進方をお願いしました。

振興委員の方々には小規模企業者に対する各種の制度や施策の普及のほか、経営上の悩みを中小企業相談所に取り次いでくれるパイプ役です。

振興委員のお名前は十七頁に掲載しておりますので、身近の振興委員を通じてお気軽にご相談をお寄せ下さい。



# 事務局日誌

5 月

**\* 部会・委員会**

- 6日 青函博特別委員会正副委員長会議
- 12日 青函博特別委員会、同特別負担金委員会合同委員会
  - 〃 テクノポリス委員会
- 25日 観光サービス部会、運輸港湾部会、地域開発委員会合同会議と市役所五部長との懇談会

**\* 正副会頭会議**

- 28日 第34回正副会頭会議

**\* 会 議(日商)**

- 19日 規模別商工会議所専務理事会議
- 20日 第41回全国専務理事・事務局長会議

**\* 審査会**

- 12日 小企業等経営改善資金の審査会

**\* 諸 会 議**

- 6日 青函博関係者懇談会
- 7日 成功させよう青函博の会正副会長会議
  - 〃 函館市高齢化問題研究会
  - 〃 昭和62年度第1回函館圏企業誘致推進協議会幹事会
- 10日 北海道業種商協会第36回全道大会
- 11日 青函博実行委員会事務局との打合せ会議
- 12日 函館市交通事業経営審議会
- 13日 第2回「明日の北海道を拓く200人委員会」
  - 〃 昭和62年度函館圏企業誘致推進協議会総会
  - 〃 はこだて冬のイベント実行委員会
- 14日 (社)函館市シルバー人材センター理事会及び定期総会
  - 〃 販売士協会総会、懇親会
  - 〃 成功させよう青函博の会ホスピタリティ運動部会
  - 〃 婦人会例会
- 15日 国立函館大学誘致促進期成会
  - 〃 昭和62年度総会並びに理事会
  - 〃 日本関税協会函館支部
    - 〃 昭和62年度事業報告会並びに講演会
  - 〃 経営者協会金曜会
- 19日 北海道新幹線建設促進道南地方期成会
  - 〃 昭和62年度総会
  - 〃 北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会
    - 〃 昭和62年度総会
  - 〃 成功させよう青函博の会常任幹事懇談会
  - 〃 小企業等経営改善資金の審査会
  - 〃 幹事会議所会議
- 20日 五稜郭商店街振興組合総会
  - 〃 経営者協会役員会、総会
- 21日 昭和62年度中小企業景況調査担当者会議

- 22日 成功させよう青函博の会PR運動部会
  - 〃 金融懇談会
  - 〃 共済事業連絡会議
  - 〃 北海道新幹線建設促進期成会
  - 〃 函館信用金庫第64期通常総代会、懇親会
- 25日 函館警察官友の会定時総会
  - 〃 函館港湾振興会昭和62年度役員会、総会
  - 〃 函館専門店会第35期通常総会、懇親会
  - 〃 函館機械金属造船工業協同組合連合会
    - 〃 第11期通常総会、懇親会
- 26日 北海道経営者協会総会
- 27日 (社)函館地方法人会第10回通常総会、懇親会
  - 〃 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会幹事会
  - 〃 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会総会
- 28日 函館都心商店街振興組合
  - 〃 昭和62年度通常総会、懇親会
  - 〃 函館市幹部との懇談会
  - 〃 昭和62年度第1回振興委員連絡会議
  - 〃 小売商業調整活動に関する説明会
- 29日 昭和62年度みなみ北海道観光連盟通常総会
  - 〃 青函博実行委員会第3回幹事会
- 30日 (財)テクノポリス函館技術振興協会
  - 〃 昭和62年度第1回理事会

**\* 講習・催物**

- 6日 記帳講習会
- 13日 〃
- 15日 「就業規則作成のポイント」セミナー
- 20日 記帳講習会
  - 〃 発明相談
  - 〃 法律相談
- 22日 ラッピング(包装技術)セミナー
- 26日 〃
- 27日 労働相談
- 27日 記帳講習会・経営相談
- 29日 デンマーク・フードフェスティバル

**\* 検定試験**

- 17日 ワープロ検定(4級)

**\* 刊 行 物**

- 20日 所報「ともえ」No.75(5月号)発行

**\* 相談・診断**

- 金融170 税務41 経理30 経営147
- 労働 46 取引 0 その他19 計453

**\* 貸 室**

- 本館 29 別館 6

**\* 文 書**

- 受信 249 発信 12

**\* 慶弔・その他**

- 7~8日 函館市交通事業経営審議会視察
- 8日 「明日の北海道を拓く200人委員会」中間報告のため札幌通産局総務部長、開発企画課長米函
- 11日 グルメ博ポスター製作者山形博導氏との懇談
- 〃 第18回箱館五稜郭祭前祭、駅前パレード
- 14日 (社)函館地方法人会財政講演会、懇親会
- 15日 第18回箱館五稜郭祭前夜祭
- 16日 第18回箱館五稜郭祭本祭維新行列
- 17日 〃
- 18日 本所議員対馬孝一殿ご母堂ヨシ殿ご逝去
- 25日 函館市キャプテンコーナー、オープンセレモニー
- 28日 第18回箱館五稜郭祭反省会
- 29日 函館物産協会創立30周年記念式典

65年の伝統と信用を誇る

## 早 川 特 許 事 務 所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所 長 弁 理 士 早 川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

**発明相談** 7月15日 水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

を見越して前向きな備蓄生産を実施中。

#### (乳加工品)

市乳・粉乳の売れ行きは比較的順調ながら、練乳の荷動きが需給引き緩みを映じて依然鈍いため、生産は引き続き抑制。

#### (漁 網)

ホタテ等養殖用資材や沿岸スケトウ漁向け刺網等の新規受注は比較的順調ながら、主力サケ・マス流し網の出荷一巡や定置網の受注低迷から、生産水準は漸次低下。

#### (その他の製造業)

合板（薄物）では、住宅、家具、家電等の根強い実需を背景に荷動き、市況とも順調なため、目一杯のフル生産体制を継続。セメントの荷動きは国の予算成立の遅れが響き本州方面等向けがやや鈍いものの、管内向けは民間建築の盛行等に支えられ好調を継続。また生コン出荷も市内部を中心に引き続き順調。

#### (建設関連)

管内主要官公庁の新年度公共事業発注が、国の予算成立の遅れもさほど響かず順調な出足をみている（4月中新規発注額前年比+5%）ほか、マンション、ホテル、病院等民間建築の動きも活発（4月中の市内建築物着工床面積前年比+21%）なことから、建設筋では引き続き繁忙裡に推移。

#### (農 業)

農作業の進捗状況は大豆、小豆の播種開始が幾分遅れた以外は平年並みとなっており、その後の生育も順調な滑り出しをみている模様。

#### (漁 業)

近海マス漁は、漁場によって漁模様にはばらつきが目立つものの、沖合船を中心に前年を上回る水揚げをみている模様。また6月1日解禁となるマイカ漁も魚群の北上が例年に比べ早いことから前浜漁撈筋では水揚げ回復を期待。

#### (小売商況)

4月中の市内大型小売店（10か店）の売

り上げは、春物衣料品、家庭用品（入進学・就職祝ギフト品）等が好売れ行きをみせたものの、一部百貨店の催事手控えを映じて雑貨（貴金属等）等の動きが鈍かったため、月中ではほぼ前年並み（前年比  $\Delta 0.7\%$ ）となった。5月入り後は、夏物衣料品を中心に比較的順調な動きを示している模様。また、家電販売は大型カラーテレビ、VTR、電子レンジ等の人気商品を中心に好調を継続している。自動車販売は前月の期末払戻の反動がみられたものの、ニューモデル乗用車や軽自動車の好売れ行きから前年並み（4月中管内自動車新車販売台数前年比  $\Delta 0.4\%$ ）を確保。

ゴールデンウィーク期間中の観光・レジャー面をみると天候不順もさほど響かず、市内ホテル、航空便、屋内レジャー施設等が道内外客でかなりの賑いをみせるなど、好調裡に推移。

#### 3. 金融事情（4月中）

○管内金融機関の実質預金は、退職金の流入等から個人預金が増加をみたものの、前期末一時的に積み上がった一般法人預金、金融機関預金の落ち込みが大きく、月中166億円の減少（前年284億円減）。一方、貸出は建設、卸・小売業、地方公共団体等を中心に期末決済資金の返済が嵩んだため、月中205億円の減少（前年213億円減）。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は長期プライムレート引き下げに伴う利下げ交渉の進展等から月中  $\Delta 0.058\%$  と引き続き低下（前月  $\Delta 0.139\%$ ）。

○銀行券は、ゴールデンウィークに向けての行楽資金需要増やJR退職金の支給集中等を映じて前年（還収超20億円）とは様変わりの中1億円の発行超。

○財政収支は、公共事業関係費の支払いや郵貯の流出等を映じて月中42億円の払超となったが、払超幅は民営化移行に伴う国鉄関係費の支払い減少から前年（払超79億円）比半減。 以上



4月

昭和62年5月29日

地域の

景況

## —— 日本銀行函館支店 ——

## 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、企業の生産活動が一進一退の域を出ないものの、公共投資や民間建築が引き続き順調なほか、自動車・家電販売が底固く、観光・レジャーも好調裡に推移している。

また、こうした動きが求人面へも好影響を及ぼすなど、全体として足取りは緩慢ながら持ち直しつつある。

○すなわち、企業の生産活動面をみると、受注好調の合板、合板機械がフル操業を続けているほか、水産加工、セメント・生コン、飼料・魚油等で高操業を維持しているものの、需要低迷の造船、漁網が低操業を余儀なくされているのははじめ、化学肥料、段ボール、乳加工品等でも減産ないし生産抑制を強いられており、またこのところ需給引き締めりや市況改善をみている電子部品も日米貿易摩擦問題の未決着から引き続き減産体制を敷いている。

この間、建設関連の業況は、公共事業の発注増やホテル、病院等民間建築の堅調を背景に順調なほか、個人消費面でも、観光・レジャーがシーズン本格化とともに盛り上がりをみており、大型小売店、自動車・家電ディーラーの売り上げも底固い動きを続けている。

一次産業面では、近海マス漁の水揚げが好転しているほか、農作業の進捗も順調。

○金融面では、企業の資金需要は期明け月とあって低調で、管内銀行の貸出約定平均金

利も引き続き低下。

## 2. 主要業種別動向

## (造船)

主力新造船部門が依然休止状態にあるものの、修繕船・陸機部門では官・民間船、橋梁等を中心に受注・操業とも比較的順調で、教育訓練等へ回していた余剰人員を幾分吸収。

## (電子部品)

日米半導体摩擦絡みの通産省の減産指導に沿って減産体制を維持しているものの、業界の生産調整効果から、国内外市場の需給地合いが引き締めりをみせており、つれて市況も改善傾向。

## (機械)

合板機械では、内外合板メーカーからの引き合いが引き続き旺盛で高水準の受注残を抱えているため、目一杯の時間外勤務によりフル操業を持続。また製缶機械でも、食品用缶メーカーからの引き合いは弱いものの、ここへきてプラスチック・紙容器の検査・製造機械等の新規受注をみたため、操短を解除。

## (化学)

飼料・魚油では、飼料の荷動きは市況軟化を見越した大口ユーザーの当用買い姿勢の強まりから幾分鈍化しているが、健康食品EPA等の引き合い好調を背景に、生産水準は漸次上昇。化学肥料では、道央・道北地区での農作業の遅れ等の影響から荷動きが鈍いため、生産を引き続き抑制。

## (段ボール)

青果物・加工食品向け出荷は、春野菜の出荷本格化や水産加工品の堅調な売れ行きを映じて順調ながら、主力北洋船団向けの荷動きが低調なため、生産は抑制気味。

## (水産加工)

消費地間屋筋の買い注文は目先梅雨期を控え細っているものの、メーカー側では梅雨明け後の行楽・レジャー需要盛り上がり

）も 1,858人と同 1.3%増加しており、有効求人倍率は0.26倍で前年度と同水準。

### 5. 金融情勢

函館管内金融機関（都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫）の62年3月末現在の預金残高は 8,061億 8,500万円（前年同月比 2.1%増）、これに対して貸出総残高は 5,747億 9,100万円（同 2.5%増）で預貸率は71.3%と前年同月に比べて 0.2ポイントの上昇。預金のうち定期性預金は 6,094億 400万円（同 1.5%増）で、預金残高に占めるウエイトは 75.6%と前年同月より 0.4ポイント下降している。また貸出金のうち設備資金は 1,443億 8,500万円（同 6.1%増）で、貸出金に占めるウエイトは25.1%で前年同月より 0.8ポイント上昇している。

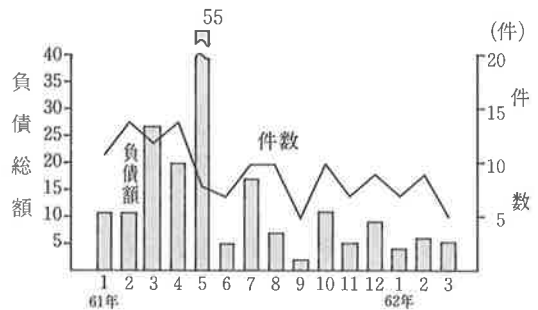
一方、年度間増加額は、預金が 479億 900万円の前年度より28億 9,900万円の減少、貸出金が 356億 4,200万円と同 105億 8,500万円減少している。

### 6. 企業倒産

61年度の函館管内企業倒産（負債額 1,000万円以上）は 101件で前年度より18件の減少。負債総額も 145億 1,500万円の前年度より70億 1,800万円、32.6%減少と落ち着きをみせた。

業種別では、製造業14件、9億 7,500万円、建設業29件、74億 8,400万円、卸売業11件、10億 3,000万円、小売業25件、16億 3,700万円、飲食業 4件、1億 1,000万円、その他18件、32億 7,900万円。

図-3 企業倒産



## 統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高 (10店) 昭和62年 4月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,856,177	82.5	99.1
身回品	476,366	71.5	93.6
雑貨	708,852	77.2	91.2
家庭用品	784,749	98.9	96.1
食料品	1,580,253	87.8	96.1
食堂・喫茶	174,266	80.0	93.8
サニタリー	64,675	78.6	94.3
その他	491,750	121.1	160.2
<b>総計</b>	<b>7,137,088</b>	<b>85.5</b>	<b>99.3</b>

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショッパーズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和61年度

函館地域の  
経済動向

昭和61年度函館地域経済動向は、公共投資が前年度実績を上回ったほか、住宅投資にも持ち直しがみられたが、構造的要因や円高の影響等もあって生産活動が停滞気味に推移。個人消費は緩やかな増加傾向となったが総じて盛り上がりを欠いて推移している。

1. 公共事業発注状況

61年度の函館管内公共事業発注状況は、総体の発注額が656億3,300万円で前年度実績を5.0%、31億4,000万円上回った。

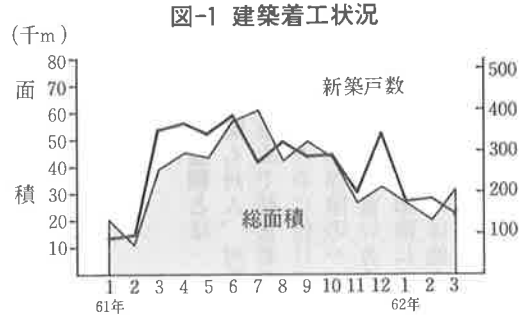
機関別にみると、函館開発建設部が325億1,200万円（前年度比8.2%増）、函館土木現業所が247億8,800万円（同3.8%増）、と共に前年度を上回る実績となったが、函館市では83億3,300万円（同2.8%減）と3年連続で前年度を下回った。

2. 建築着工状況

61年度の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が473,000㎡で、前年度に比べ17.0%の増加、うち住宅部分床面積は295,524㎡で同2.9%増加している。

また住宅総戸数は3,770戸で同2.9%減少したが、うち新築住宅は3,357戸で同3.6%の増加、増改築が419戸、同34.8%の減少となっている。

新築住宅の内訳は、持ち家1,184戸（前年度比0.8%減）、借家が1,857戸（同14.3%増）、その他316戸（同25.1%増）とアパート・マンション建築の好調を反映している。



3. 個人消費

① 大型店売上高

61年度の函館市内第一種大型店売上高（ニトリ家具を除く）は、総額で886億1,843万円と前年度より2億8,833万円、0.3%の微増にとどまった。

品目別では、主力の衣料品が354億3,035万円と前年度より0.5%減少、もう一方の主力食料品も211億9,556万円と同0.8%減少と共に低迷。家庭用品が87億8,851万円と同1.8%増と家電品を中心にやや堅調に推移している。

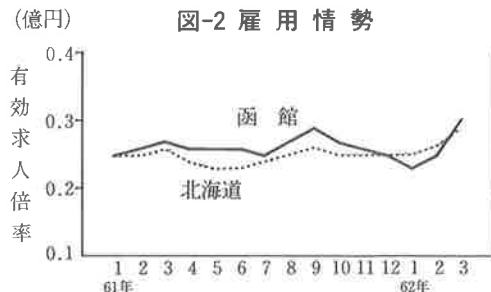
② 新車登録台数

61年度の函館管内新車登録台数は、25,853台で前年度より917台、3.7%の増加。

車種別では、普通乗用車が15,980台で前年度より4.5%減少したが、貨物・その他が、3,139台で同54.8%の増加と回復基調、軽自動車も引き続き堅調で6,734台、同9.2%の増加となった。

4. 雇用情勢

61年度の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が前年度を0.3%上回る7,079人、月平均有効求人数（常用



## クルマ社会の防衛策

### 賠償責任から

### 労災責任まで



●著者／弁護士 福嶋弘榮

**第五章 保険金額とは**  
 自賠責保険も対人、対物賠償保険も自動車事故で被害者に損害を与えたときのために付けておく保険です。自動車保険のパンフレットに書かれている言い方を引用するならば、「自動車事故により他人を死傷させ、あるいは他人の財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負担した場合に保険金が支



繁栄

ヒント  
 みんと

払われる保険」です。  
 このうち自賠責保険と対人賠償保険は、他人を死傷させた場合を対象とするものであり、対物賠償保険は他人の財物に損害を与えた場合を対象とするものです。  
 また、自賠責保険と対人賠償保険は同じ他人を死傷させた場合を対象とするものですが、対人賠償保険は自賠責保険でこえた部分について保険金を支払うことになっており、二つの保険から重複して支払われることはありません。  
 前書がながくなりましたが、前項とあわせて読んでいただければ自賠責保険、対人、対物賠償保険の関係はよくわかりただけた



ことと思います。  
 さて、この三つの保険については保険金額というものが定められています。

事故を起こせば、この保険金額として記載された金額が無条件に支払われるわけではありません。被害者の実際の損害がこの保険金額以下であれば、その損害額しか支払われず、被害者の実際の損害が保険金額をこえたときは、保険金はその保険金額までしか支払われません。保険金額とは、保険金の支払われる限度額を示しているのです。

生命保険では、一千万円の保険をかければ、一千万円の保険金が支払われますが、これとは異なるのです。

自賠責保険の保険金額は別表のとおりです。(7月号掲載)

自賠責保険では、傷害、死亡、後遺障害の三つに分けて保険金額が定められています。すなわち、傷害だけのときは百二十万円までしか出ません。別に後遺障害が残れば、その障害の重さに応じて1級から14級に区分されて、それぞれの等級に定められた金額まで支払われます。

俗に自賠責保険は二千五百万円まで出るといわれていますが、こ

information .....now!

確かな経営戦略のために、活きたデータを提供します。



株式会社 東京商工リサーチ 函館支店

〒040 函館市本町6番7号(函館第一生命ビル) ☎(0138) 54-8691

これは被害者が死亡したとか、後遺障害1級のときのみで、すべての場合にこの額が出るわけではありません。これでも右のような重大な事故では二千五百万円という金額では到底損害がまかない切れなう。と考えておいた方がよいでしょう。

対人賠償保険の保険金額は自賠責保険のような区分けはありません。被害者の死傷による損額を合計した総額に過失相殺などを加して加害者側が賠償しなければならぬ額を求めた上、それから自賠責保険より支払われた傷害、後遺障害などのすべての保険金を控除した残額について保険金額の範囲内で支払われるものです。

対人賠償保険の保険金額は保険会社との契約で任意に定めることができます。現在では保険金額が無制限というものもあります。対物保険も任意保険ですから、その保険金額も契約によって定め



ます。

### 第六章 損害賠償の範囲

#### (人身損害について)

交通事故によって受けた損害のうち、損害賠償を求めることができるとは、事故と相当因果関係のある損害です。

交通事故にあつたことによつて、被害者はいろいろな出費をします。会社を休めば給料もありません。しかし、事故が原因となつて出費したすべてのものについて加害者に賠償を求めることができるとは限りません。

その賠償を求めることができるとは、範囲を決めるのが相当因果関係なのです。

相当因果関係にある損害とは、一般の人がみて賠償させるのが相当とされる損害のことです。健全な人の常識からして、賠償すべきであると考えられるものといつてもよいでしょう。

交通事故から生ずる出費などに

はいろいろなものがあるため、それが損害にあたるか否かは、数学の公式のように一律に決定できるものではなく、その出費等のそれぞれについて健全な常識をもとに判断するしかありません。



たとえば、軽い腕のケガの治療のために通院するときに、バスでも通えるのにタクシーを使ったとしたら、タクシー代は常識から考えて相当因果関係のある損害とはいえないでしょう。これが足を骨折しているため歩くのが困難であるとしたら、タクシー代は相当因果関係にある損害となります。

このように、相当因果関係のある損害かどうかは、個々の事故の事情に基づいて判断する必要があります。

7月号へつづく。

創業明治16年 老舗の”味”

(有) 宮原かまぼこ

本店 北海道函館市豊川町2の18 TEL(代)22-0765

代表取締役 宮原 秀夫



## F要素、虚構性、神話性を導入

### 現代「商店街革命」の起爆剤

#### 「マリオン現象」の秘密を解く

(株)博報堂  
マーケティングディレクター

布施 康 善

### 銀座も「威力」から 「実力」の時代へ！

昭和五十九年十月六日、銀座の入口、有楽町駅前、モノを売るだけでなく、コト(情報・サービス)を売るまったく新しいタイプの百貨店「生活情報館」を標榜する「有楽町西武」と「オーセンティック(本物)」をキャッチフレーズにする「有楽町阪急」の二つの百貨店、五つの映画館と国際会議場からなる新しい複合ビル「有楽町マリオン」がオープンした。半年前の「プランタン銀座」のオープンと合わせ、わずか半年間に、銀座地区の百貨店売場面積を五割も増大させ、「銀座デパート戦争」とか「銀座戦国時代」などといったセンセーショナルな話題を提供する店舗同士の猛烈なシェア争いが開始されることとなった。

この荒療治の競争原理の導入は、これまで「銀座」という地名の「威力」で商売をしてきた人々に名実ともにNo.1として

の「実力」を誇る店舗・街づくりへの意識改革を促し、店舗のリニューアルやターゲット顧客の若返り、路地裏を含めた積極的な街づくり、商店街行事への積極参加などを通じて、銀座の魅力の再構築を促進させることとなった。これらの努力の結果、銀座の商圈拡大、来街客の増加を促進し、さらに銀座の街から遠ざかりつつあった若者を呼び戻すなど、銀座商店街全体としてのリニューアルとポジショニングの大変革をもたらすこととなった。

「有楽町マリオン」誕生は、ただ単に、新しい百貨店の誕生にとどまらず、現代の「商店街革命」であり、「有楽町マリオン」はその起爆剤的役割を果たしたといえよう。

### 銀座のPFダイナミズム

銀座のような大きな商店街から下町の買い物横丁まで、商店街・店舗は「PFダイナミズム」という共通した経済原理に支配されている。PとはPlace(立地)、Price(価格)、